

北中城村



みんなで会議
みんなの議会

113号

令和7年3月定例議会

目次

- ・シリーズ村民の声 2P
- ・私たちの予算はこう使われる 4P
- ・新年度予算を問う 5P
- ・そこが聞きたい予算質疑 6P
- ・一般質問 7～18P
- ・議会活動報告 19P
- ・議長の部屋、編集後記など 20P



議会HPは
コチラから
Check!

表紙イラスト アーサ



けいおうがいらら
継往開来

大城老人会 会長 屋良和正 60代 大城在住

シリーズ村民の声
私の目標が
明日のわくわくに!



春風がやさしく吹き抜けると同時に新年度もスタートしました。入社、入学、新しい人事、意気込みを新たにする季節!

村民の皆さんから夢、目標そして明日のわくわくをインタビューしてきました。



イラスト 北中城村無形民俗文化財 熱田フェーンシマ



いちごいちえん
一期一縁

玉城商店 店長 饒波愛 30代 安谷屋在住



ゆうもうちょうじん
勇猛精進

北中城小学校6年生 田場琥太郎 渡回在住

私の一般質問

3月定例議会においては令和7年度の予算並びに事業が決定されました。村の予算は村民の予算で村民一人一人の事業、行政サービスになります。

ということで、村民一人一人から政策提言提案を頂きました。

【提案】

- ◆島袋公民館前の通りは、交通量が多く停止線で止まらない車両も多い。子ども達の出入り往來もかなりある中で危険だ。道路に注意喚起の看板やハンパの設置が必要。
- ◆議会との意見交換会の定例化を望む。

島袋自治会 自治会長 喜納昌金

議会だよりの名前が変わりました!

平成8年に創刊された北中城村議会だよりますが、今年で30年目を迎え、今定例議会号で113号を発刊することができました。これもひとえに村民の皆様のご協力とご愛読、そして、これまでの編集委員の皆様のご取り組みのおかげだと感謝しております。

そこで、「北中城村議会だよりの」として発刊しておりました議会広報紙を、これまで以上に住民自治の推進を図り、住民参加型の議会だよりを推し進めるために、新たな名称「北中城村みんなで会議みんなの議会」として発刊することになりました。これまで以上に、主権者たる村民一人一人の声を発信していきますので、何卒宜しくお願いいたします。

住民参加

【提案】

- ◆地域猫が最近増えている。地域猫を捕獲してくれる人が必要だ。
- ◆村全体的な自主防災組織の立ち上げ。
- ◆スポーツ施設の1回ごとの使用券の販売。
- ◆公民館の蛍光灯をLEDへ変更を急いで欲しい。



【提案】

- ◆村内企業・事業所の活性化の為に、中小企業・小規模企業振興基本条例の制定を早く進めて欲しい。
- ◆基地内の子ども達と文化交流を進め語学力の強化に繋げて欲しい。

北中城村商工会
会長 池間勝

仲順自治会 自治会長 我如古誠

【提案】

- ◆若松橋交差点は交通量の多い通学路になっている。安全上信号機の設置を望む。
- ◆自主防災連絡協議会などの立ち上げや村全体の防災訓練の開催を望む。

安谷屋自治会
自治会長 棚原克也

【提案】

- ◆村内企業の業種や扱っている商品、サービスなどを把握し、きめ細かい発注をして、村内企業の成長、育成につなげて欲しい。
- ◆和仁屋っ子クラブのような子ども達の居場所作りになる取組みを村内全域に広げて欲しい。

北中城村商工会
副会長 生田健太

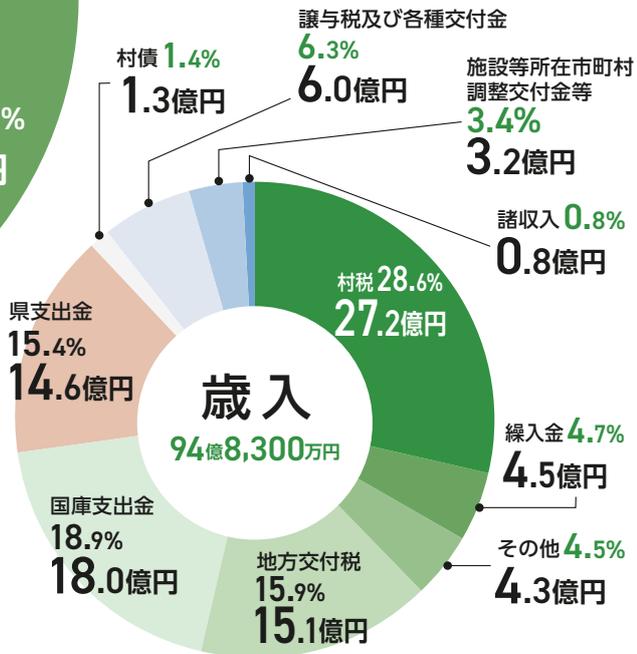
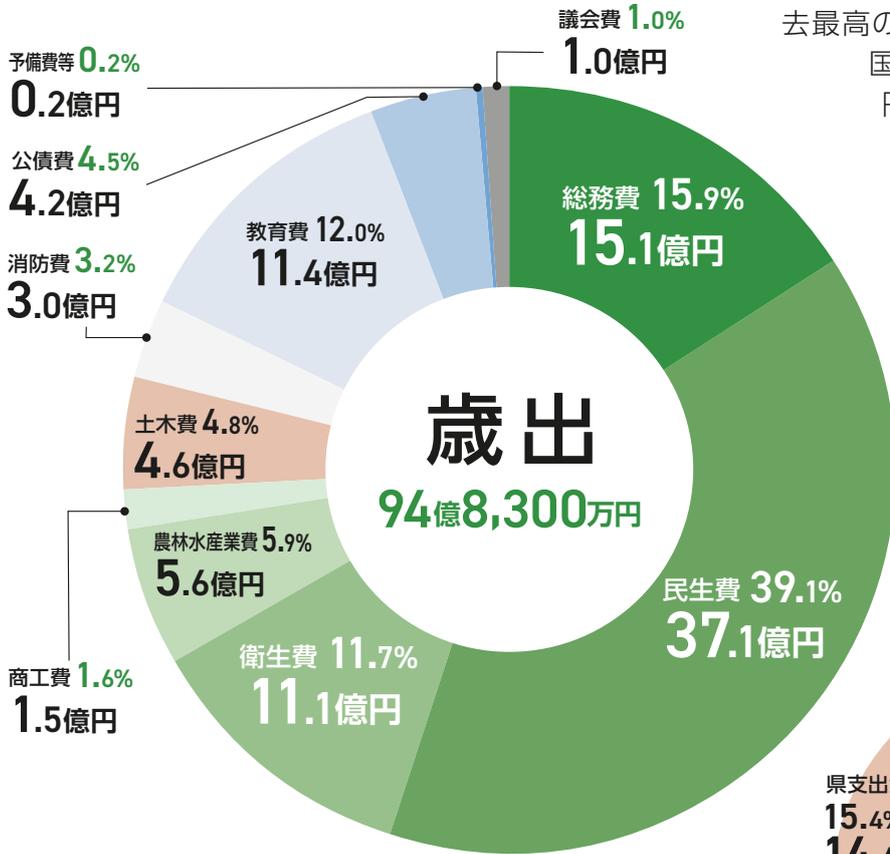


私たちの予算は こう使われる

令和7年3月定例議会は7日から27日までの21日間の会期で開かれ、令和7年度の当初予算をはじめ条例の制定や指定管理者の指定、第5次基本構想の策定等が審議されました。一般会計の歳入歳出予算の総額は**94億8千3百万円**となり対前年度比6.3%増の過去最高の予算額となった。

国民健康保険特別会計22億1千3百万円、後期高齢者医療特別会計3億3千4百万円、水道事業会計7億7千2百万円、下水道事業会計9億5千2百万円を合わせると総額**137億5千5百万円**となった。

また、一般質問においては、議長を除く全議員12名が登壇し行政を質しました。



歳入歳出総額94億8千3百万円

■今年度、この事業を行う



安谷屋灌漑施設整備事業
4億2,600万円



公立学校情報機器整備事業
1億2,300万円



安谷屋火の神保護対策事業
950万円

- ◎妊婦のための支援給付事業 ……1,200万円
- ◎北中城小学校管理棟床改修工事 …… 600万円
- ◎防犯灯緊急整備事業 …… 220万円

- ◎村内公園遊具設置事業 …… 370万円
- ◎中学校スクールバス購入事業 ……2,750万円
- ◎システム標準化・共通化事業 …… 1億2,000万円

用語説明

□灌漑施設：農地に水を供給するために整備された水利施設。

新年度予算を問う！



喜屋武 功
委員長

令和7年度一般会計予算は予算審査特別委員会が設置され、委員長に喜屋武功委員、副委員長に比嘉悟委員を選任。

3月11日、13日、14日、17日、25日の5日間に渡り、議長を除いた全委員で審査を行った。

審査の結果、上間堅治委員より修正動議が出され、本委員会は修正案を反対多数で否決。よって原案を賛成多数で附帯意見を付して可決した。



比嘉 悟
副委員長

附帯意見

令和7年度予算においては、予算編成時に2度のヒアリングを行うなど、これまで以上に苦慮し作成された予算書である。

予算確定後、政治・経済・社会情勢の変化によって既定の予算書に追加、あるいは変更を加える必要性が生じた場合に編成するのが補正予算である。みだりに補正を重ねると、年間予算としての当初予算の意義がなくなり、財政運営の一貫性が失われることになる。

また、補助金等の削減についても相手方へ丁寧に説明されていたとは思えず、混乱が生じた。今後、このようなことが生じることがないように予算編成には慎重かつ真摯に向き合い丁寧な説明に努めることを求める。

ちょっと待った！ 原案に対して修正案の動議が出て賛否がわかりました。

令和7年度当初予算に保育士処遇改善事業補助金と看護師配置事業費が計上されなかったことから当初予算に計上するよう修正案が出された。採決の結果、修正案は反対多数で否決。

賛否の結果は以下の通り、尚、(議) 議会議長並びに(予) 予算審査特別委員会委員長は賛否に加わらない。

議員名	川上龍太	屋良朝春	比嘉悟	比嘉正志	平安山和美	喜屋武功	伊集守吉	大城律也	上間堅治	喜屋武すま子	比嘉義弘	名幸利積	山田晴憲
①	○	○	×	○	×	予	×	×	○	×	×	議	×
②	×	×	○	×	○	予	○	○	×	○	○	議	○

①修正案に対する賛否 賛成4 反対7 ②原案に対する賛否 賛成7 反対4

修正案賛成討論 屋良朝春委員 他2名

予算編成時に何度かヒアリングしたにも関わらず保育の現状を理解していない。また、各園に対して事業廃止の報告を一方向的にメールで通知するのは不誠実だ。財政状況を理由に事業を廃止とした後に補正で対応するという村当局の進め方は各認可園に混乱をもたらしている。また、補正で対応できなければ保育士が他の市町村に流失し、そこで一番影響を受けるのは園児であり保護者である。よって、修正案に賛成である。

修正案反対討論 比嘉悟委員 他1名

この事業については廃止を撤回し、令和7年度途中からの事業を継続するという答弁があり執行機関の誠実性は明らかである。修正案はこの事業費を予備費から組み替えると言うが、予備費は自然災害等緊急的に発生した事案に出されるものだ。また、年度当初から不用意に予備費の変更は賢明ではない。よって、修正案に対して反対である。



そこが聞きたい! 予算質疑

※議長を除く全委員から280の質疑がありました。紙面の都合上抜粋要約して掲載しております。

雇用サポートセンターの実績は。

川上 龍太 委員

- 答 相談件数130件、就職実績3件になる。
- 問 費用対効果が見られない。
- 答 ハローワークにもつないでいる。

老朽化した仲順児童館や鳥袋児童館の建替え計画は。

比嘉 悟 委員

- 答 今回は813万円の修繕費だが、今後両児童館の建替えに関する計画を策定していきたい。



GIGA端末整備事業の件で修理に係る保険は。

屋良 朝春 委員

- 答 1年間はサポートがある。破損等の事案が多く保険はない。
- 問 修理に至るケースは何件あるか。
- 答 過去5年間で26件。



ごみ収集運搬委託料の積算根拠は今の情勢に叶ってるか。

比嘉 正志 委員

- 答 毎年の国や県の単価に基づいている。
- 問 実際はその単価では厳しいと村内業者から声が上がっている。
- 答 村内業者から理解を得ながら今の情勢に見合うように進めていけるようにする。

観光費委託料が前年度比で1,741万円減の理由は。

平安山 和美 委員

- 答 委託先との調整により事業の見直しをした。
- 問 予算減の中で観光をどう盛り上げるのか。
- 答 全体的に費用対効果が望めないものや観光協会の負担になっているものを見直した。実施可能な規模で進めている。

公園墓地閉館時に問題が発生した時の対応は。

伊集 守吉 委員

- 答 異常が発生した時にはコントロールセンターで確認し30分圏内に常駐している警備員が現場へ向かうシステムになっている。

県の補助を利用して小中学校の給食費無償化を進められないのか。

上間 堅治 委員

- 答 段階的に進めていきたいが現状よりも480万円の負担増になる。

子どもの居場所運營業務の中で活動団体に対して申請すれば補助は可能か。

比嘉 義弘 委員

- 答 任意団体でも可能だが審査し決定する。



現状のミバエ防除誘殺板は昨年本島北部で発見されたセグロウリミバエにも対応するか。

喜屋武 功 委員

- 答 現在県の方で検証中で、今後セグロウリミバエへの対応は国・県の方から指示がある。



用語説明
セグロウリミバエはハエ科の一種でウリ科の果実に寄生して被害を引き起す。

人間ドック助成金が5,000円減はなぜか。

大城 律也 委員

- 答 これまで特定健診の受診率も上がってきていたが、厳しい財政状況を背景に、近隣市町村の状況も見て村長と相談して決めた。

多目的交流施設の建設予定地は駐車場問題や渋滞問題があるが。

喜屋武 すま子 委員

- 答 様々な選択肢、方向性を探る必要がある。

放課後子ども育成事業で待機児童解消になるか。

山田 晴憲 委員

- 答 新1年生の受け入れは可能になるがニーズは高い状態にある。





詳細は
動画から
チェック!

クラウドファンディングで 村内に遊具を

■ 村長 積極的に進められる



ひが さとる
比嘉 悟 議員

・月イチで食べたいものは?
山羊汁

・いつか挑戦してみたいこと
那覇マラソン

・北中城村に今、必要なもの
防災力と地域力

用語説明
※クラウドファンディングとは、群衆(クラウド)と資金調達(ファンディング)を組み合わせた造語で、インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること。
※浚渫(しゅんせつ)とは、水底をさらって土砂などを取り除くこと。

問 公園は憩いまためは遊びを楽しむために公開され、子どもにとっての外遊びは、心身の発育発達や健全育成に大切な場所だと考える。しかし、近年、各地域の公園遊具は、安全面で撤去が続いている。今後、北中城村の公園環境をどのようにお考えか。

答 令和7年度予算において、小規模ながら遊具の整備費用を計上している。

問 遊具の減少により運動能力や危険察知能力の低下が懸念されているが。

答 学校現場では、教育活動全体を通して

問 子どもから高齢者までが利用できる公園へ転換し、村内の公園を健康器具系公園にしては。

て、体力の維持・向上、健康増進、体力増進に努めたい。

問 まだ利用できない公園へ転換し、村内の公園を健康器具系公園にしては。

答 総合的に勘案し意見交換会等を通じて、進めていければと思う。



遊具が撤去された校庭

問 ※クラウドファンディングを活用して村内の公園や小学校に遊具を設置しては。

答 積極的に進められると思っている。

排水路等の点検は

問 令和6年11月の北部豪雨。令和7年1月の沖縄市での大雨。我が

村の排水路等の点検は。

答 定期的なパトロールと流水阻害要因となる雑木の除去や伐根除草を行っている。

問 我が村で、※浚渫など県に要請している箇所は。

答 要請箇所はございません。

問 過去に村内で、氾濫や浸水被害が出た箇所は。

答 平成25年度以降54件の床上・床下浸水が発生している。

問 琉球銀行北中城支店前の側溝に雑木が生えている。県の管轄

なら早めの要請を望む。

答 県の方に要請する。

問 総務省の防災・減災対策の緊急浚渫推進事業を活用出来ないか。

答 これは普通河川が対象で、県内下水道事業について活用した箇所はない。

問 今後の北中城村の浸水対策は。

答 令和7年度から雨水管理総合計画の策定に取り組み、令和8年度までに浸水想定区域図を作成し、浸水対策の取り組みを強化する。



詳細は
動画から
チェック!



おおしろ りつや
大城 律也 議員

高齢化の進行がさらに深刻化

■ 村長 政策・施策を検討していく

問 2040年に
けて人口は減少す
る一方で、65歳以上の
人口は増加し続け、団
塊の世代が75歳以上と
なり、高齢化の進行が
さらに深刻化する。社
会保障費の増加や医
療・介護需要の拡大は
村財政に大きな負担と
なることが予想され
る。行政の地域ごとの
コミュニティレベルで
持続可能な発展に向け
た対応が求められる。

難しくなることや、地
域とのつながりが希薄
化することが懸念され
る。自治会活動を続け

るためには、新しいア
プローチが必要にな
る。地域の課題解決に
向けたIT技術の導入

答 人口減少が進む
中で、自治会活動
には様々な影響が出て
くる。自治会の運営が



高齢者の元気が、村民の活力!公民館の活力!

答 高齢者が在宅で
安心して暮らし

問 要介護者や認知
症高齢者は増加し
ていくものと予想され
る。介護家族の負担、認
知症高齢者の徘徊、老々
介護など多くの問題が
発生する。在宅で暮らし
続けるためには、医療・
介護・予防・地域・生活
支援サービスなど一体
的に提供する体制が必
要である。

などで人々の参加を促
すとともに、地域社会
のつながりを保つた
め、新しい方法を模索
していくことが重要で
ある。自治会と行政が
一緒になって政策・施
策を検討していく必要
がある。

高年齢者が在宅で
安心して暮らし

問 選挙は、村民が
主権者として政治
に参加する最も重要で
基本的な機会である。
各種選挙の投票率は低
下傾向にある。投票率
の向上を図るため、高
齢者の投票権保障策と
して投票環境を改善す
る必要がある。①車両
による移動投票所の取
り組み②大型商業施設
等を有効活用した投票

続けるためには、本村
としても第5次総合
計画や※第9次高齢者
保健福祉計画におい
て、地域包括ケアシス
テムの深化とその体
制づくりに取り組ん
でいく。

その他に、学校最高管
理者の不祥事案と、令
和7年度施政方針につい
ても質問をしました。

答 ①は投票管理者
や立会人の配置等
から制度上車両による
移動投票の実施は厳し
いと考える。コミュニ
ティバス等を利用した
支援の検討が必要。②
についても投票管理
者、立会人等の確保、実
施場所のインフラ整備
など多額の費用負担が
生じ、現時点では大変
厳しいと考えている。

所
の
拡
充
も
重
要
で
あ
る。

問 利便性の高い投票
所の設置促進

※第9次高齢者保健福祉計画とは、高齢者が尊厳を保ちなが
ら健康づくりや生きがいづくりなど多様な社会参加や、必要
とするサービスを受けながら生涯にわたって出来るだけ住み
慣れた地域で生活する事ができる住みよいまちづくりを目指
す。



詳細は
動画から
チェック!

投票率の低下 子連れ投票の推奨

■ 村長 来る参議院選挙で検討



うえま けんじ
上間 堅治 議員

・月イチで食べたいものは？
シラスの卵かけごはん

・いつか挑戦してみたいこと
日本一周

・北中城村に今、必要なもの
世代交代

用語説明
※子連れ投票とは、正式名称は「親子連れ投票」主権者教育の必要性が高まる中、子どもが親の投票している姿を見る事は投票の疑似体験になり投票を身近に感じるきっかけとして期待を寄せらる。2015年に選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた法改正に合わせて、それまで幼児に限定されていた投票所への立ち入りが18歳未満の子どもまで拡大された。

問

投票率低下は今に始まった事ではない、近隣の市町村では選挙前から横断幕の設置等を行っている。県選挙管理委員会では公報で※子連れ投票の推奨を行っている。子連れ投票は将来の投票行動への評価も出されており主権者教育としても重要ではないか。

答

他市町村や県選挙管理委員会での啓発の取り組みを参考にし、来る参議院選挙では検討したい。本村でも選挙啓発ポスター等の取り組みを行っている。このような機会を学校とも連携し機会を増やせればと思う。

問

広報誌での字

問



情報量が多い
沖縄県選挙管理委員会公報

別、年齢別の投票率集計表の公表も意識付けとしては重要ではないか。

答

広報誌への掲載は問題ないと思われる。対応したい。

予算

問

以前から関係機関の報告で本村の

答

今までのような予算編成では今後厳しい。良好な予算編成とは言えない、我々の力に見合った予算編成が

今後の財政状況は厳しくなると予想されていた。令和7年度の予算は本当に厳しい状況が各課の間き取りからもうかがえる。このような状況がどのように思うか。

問

繰入金や基金積立は大幅な削減、会計年度任用職員も10人削減、一部事業もカットされている。村長選挙では貯金は十分にあるとの話だが、貯金はなくこのような状況に至った理由は検証されたのか。

出来ればと思う。

答

今の財政事情はこれまででない状況である。グリーンセンター建設、ロウワープラザ等基金を積み立てる必要がある、総合的に勘案して今は厳しい環境にある。

問

厳しい財政状況である。実質公債比率に債務負担行為も含めるべきではないのか。

答

債務負担行為に対しては将来の返済に向けて特定目的基金に積立を行っている。

問

令和7年度は積立を行わず逆に繰入しているが。

答

予算編成上厳しく、当初では見送りましたが年度途中の決算余剰金等で積み増しを予定している。

問

経常収支比率の目標が88%以下となっている。以前の村長答弁は87%は危険ゾーンと発言があるが、この目標には疑問がある。

答

88%以下という事。88%が目標ではない。



詳細は動画からチェック!



ひが よしひろ 議員 比嘉 義弘

少子高齢化社会における民生委員の役割

■ 村長 存在は大きい

問 少子高齢化が進んでいる今の社会情勢において、何ら問題なく生きることが非常に難しい中で、民生委員・児童委員の果たす役割が大きくなってきている。村長はどう考えているか。また、北中城村における状況はどうか伺う。

問 民生委員・児童委員になるのは何か資格が必要なのか。また、民生委員法第10条において、民生委員には給与を支給しないとのことだが、

た、民生委員法第10条において、民生委員には給与を支給しないとのことだが、

答 民生委員・児童委員の活動をやる中で、やはり無報酬ということは大変厳しいのかなと思う。人権擁護員も含めて、この辺をもう少し国も配慮していただきたいと思う。

して取り組んでいく。策定委員会を3回実施し、まとめていきたい。その後、県との調整に入りたい。 県との調整についても、両村で作ったこの計画をもって協議するということになる。

しっかりと進めよ 共同のまちづくり

問 中城村との共同のまちづくりについて、しっかりと進めようと考えているか。中城村の新村長も当選し、共同のまちづくり構想を訴えているが。

答 ※中城村との共同のまちづくり計画につきましても、中城城跡を中心としたまちづくり計画ということで位置づけされており、本村と中城村とはこれまでずっと一緒にやってきたところなんです。

答 民生委員・児童委員の存在は大きく、その任務は重いものと理解している。北中城村の民生委員・児童委員の定員32名に対して26名となっており、配置されていない地区が屋原地区と安谷屋地区の2地区ある。



世界遺産の中城城跡

答 令和7年度も中城村との共同のまちづくりについて継続

してきたところなんです。



詳細は
動画から
チェック!

保育士待遇、子育て支援の充実を

■ 村長 再度審議・協議し補助交付を決定



やら ともはる
屋良 朝春 議員

・月イチで食べたいものは？
寿司

・いつか挑戦してみたいこと
もう一度トップクラス

・北中城村に今、必要なもの
財源回復

用語説明
※看護師配置事業とは、村内認可保育園施設に対し看護師を配置した際に月5万円を上限に助成する事業。
※村処遇改善事業とは、村内認可保育園施設等に勤務保育士に対し月5千円を助成する事業。
※商工会小規模基本条例とは、国と地方自治体における施策の一貫性・継続性を確保するとともに相互補完を図り、小規模事業の振興を実現していく。

問 なぜ各園との協議もなく※看護師廃止事業、※村処遇改善事業の廃止を通知したのか。

答 予算を編成する上で事業の継続は厳しいと判断。事前に各施設と協議をしていない。

問 財源が厳しいという理由で説明もなく一方的に打ち切るのは各園に対し乱暴過ぎるのでは。

答 保育士関係者には大変唐突だった。再度審議・協議し、補助を交付すると決めた。

問 子ども未来課が



できて園との調整、今後協議会の検討は。

答 本来は設置すべき所だが、今年度は開催が1回も開けなかった。今後、事前に調整して会議にも出席して説明をしていきたい。

問 補正で対応でき

るのか。令和8年度事業の継続は。

答 補正対応できるように努めます。次年度以降については手当することは我々としては考えている。保育所長会議等で議題として対応していく。

商工会について

問 北中城村※商工会小規模基本条例の制定をすべきだ。

答 必要性等を勘案しながら、商工業者の皆さんの育成につながるなら検討していきたい。

問 いつ頃の制定を考えるか。

答 中身のない条例を提案することはできない。今後は情報収集をして商工会との意見交換を重ねて条例の制定に向けて取り組んでいく。

問 商工会が各種イベント等を協賛で

行っているが今後は村政からの補助の検討は。

答 いろんな財源を探しながら支援できるように努めていきたい。

■その他に、村産品推進事業、共同まちづくり、村長選挙についても質問をしました。



詳細は
動画から
チェック!



きゃん いさお
喜屋武功 議員

中北消防で10名の人材を失った

■ 村長 大変憂慮すべきこと

問 全国の消防本部や消防署で2023

年度に暴力や性的嫌がらせによるハラスメント行為が少なくとも176件発生し、幹部級を含む206名が懲戒処分されていたと総務省消防庁の調べで分かったが、中北消防本部において、過去5年間で定年を前に※勸奨退職3名、自己都合退職者7名の職員が辞めている。中城村、北中城村民の生命と財産を守る大切な人材をこれだけ失うという事について、中北消防本部の管理者は中城村長、副管理者は北中城村長だが、どう捉

えるか。

答 大変憂慮すべきものだ。これだけ頻繁に職員が替わっているこ

とに対して調査する。

問 若くして安定した仕事を去ると言うのは、よっぽどの理由



日々村民のために頑張る消防職員

- ・月イチで食べたいものは？
ロツテ霧の箱舟
- ・いつか挑戦してみたいこと
北中城村に世界企業を誘致
- ・北中城村に今、必要なもの
政治的突破力

用語説明

※勸奨退職とは、労働者の自発的な意思によるものを促す点で、使用者、労働者の双方の合意によるもの。

デジタル教育の危険性

問 今ヨーロッパに

教育による学習効果の低下や脳の働きへの弊害等が報告され、規制や見直しが進められている。そういう状況にも関わらず日本においてはデジタル教科書の導入など教育現場へのデジタル依存が高まりつつある。様々なものを加味して教育政策を進めなければならぬ。

問 我が村は英語に特化した事業が多いが、もっと他の人材育成事業も進めるべきだ。沖縄県は子どもの貧困、貧困の連鎖等がある。それを解決するために公営塾も検討すべき。他の市町村では一括交付金や防衛予算を使い公営塾をしている。

答 財政的な面もあるが検討する余地はある。

答 我々管理者、副管理者も入ってしっかりとそれは調査をしていく。また、内部での調査というのはなかなか難しいものがある。今回は両村の村長部局から選定して調査もしていきます。

答 危機的な状況については承知していなかった。もっと教育委員会と話し合いを進めていきます。

■その他に、①保育子育て事業を後退させるな
②地域防犯対策③シビックプライドの醸成と仕事の地産地消④議員報酬の引き上げについても質問をしました。



詳細は
動画から
チェック!

村処遇改善事業、看護師配置事業の 廃止理由は

■ 村長 しんしゃく 斟酌したい



問 村内認可保育施設における、両事業の廃止理由は。

答 保育士処遇改善事業は保育士に月5千円を助成、看護師配置事業は補助として月5万円を上限に助成する事業。いずれも村内認可保育園施設を対象とした一般財源による村独自の補助事業である。当初予算を編成する上で、厳しい村の財政状況から事業廃止としたが、その後、村内施設の状態や寄せられた意見等を鑑み、事業の廃止を撤回し、令和7年度の事業を継続する方針とした。充当できる財源を調査しつつ各施設と意見交換し、有効な支援策について検討していく。

かわかみ りょうた 川上 龍太 議員

・月イチで食べたいものは？
焼肉

・いつか挑戦してみたいこと
世界一周

・北中城村に今、必要なもの
予算の確保と財政の安定、陸上競技場等のスポーツ施設、子ども達が遊びやすい公園整備、子ども食堂

用語説明
※アナフィラキシーショックとは、アレルギーの原因となる物質にさらされた後に起こる反応。その中でも重症な場合で、すぐに治療をしなければ命を落とすことがある。

問 怪我、感染症、アレルギー、※アナフィラキシーショック等への対応が必要な児童に対して、看護師が勤務している事で即対応、即解決に繋がるが。

答 関係機関等との連携で対応可能ではないか。

問 保育士処遇改善

事業を廃止する事で、保育士確保が難しくなり待機児童が増えてしまう。まさに悪循環。本村がこども未来課を設置した事、村長の施政方針と全く違うが。

答 担当課と協議して、次年度以降対応する。

問 保育士確保が厳



公立認定こども園 第2庁舎

しい中で、本村の補助も考えを持たないと補助の悪い他市町村へ流れてしまう。補正予算で対応する話だが、ぜひ当初から組んで頂きたい。これが子どもたちの未来、北中城村を支えていく人材の未来に繋がると思う。

答 斟酌したい。限られた財源をどう有効に使うかが課題。これからしっかりと考えていく。

行政のDX化の 進捗は

問 行政がデジタル技術を活用して業務の効率化、サービスの向上、住民とのコミュニケーションの強化を図ることが可能になる。今後

の方針、村民への行政サービスの向上は。

答 行政手続きのオンライン化により手続きの方法が増えることで、いつでもどこでも申請でき、住民サービスの向上と利便性が図られる。

問 本村は特定防衛施設関連市町村に該当。法律で様々な施策、助成を受ける事ができるが要請の頻度は。予算獲得を是非やるべきだ。

答 防衛局職員との懇談会を次年度早々に実現したい。

基地周辺対策事業 の活用を



中央公民館駐車場の危険だ

教育長 撤去については村長部局と話合いたい

詳細は動画からチェック!



いじゆ しゅきち 伊集 守吉 議員

- ・月イチで食べたいものは？
山羊汁
- ・いつか挑戦してみたいこと
ゴルフのスコア90
- ・北中城村に今、必要なもの
袋地が多い、道路整備をしっかりとってほしい

用語説明
 ※ロウワープラザ緑地ひろばとは、平成25年に公表された「沖縄総合計画」で返還予定地となっているロウワープラザ住宅地区を返還までの間、日米の共同使用という形で緑地ひろばとして一般開放する沖縄防衛局の取組み。

問 中央公民館の駐車場は白線ラインが確認できない箇所がある。白線ラインを引いて駐車場の安全性向上及び利用効率を高める必要があると考えるが。

答 職員で応急的に行っており、整備が不十分であることは認識している。検討して安全性及び利用効率の向上に努める。

問 駐車場には3ヶ所の花壇がある。



駐車場内に設置されている危険な花壇

中央付近に設置されているものにはぶつかった跡がある。大変危険だと思うが花壇は必要か。

答 景観上の観点から設置されている。夜間の利用者には危険な要素となる可能性がある。村長部局と教育委員会で話合いたい。

問 社協の入り口は街灯がなくとも暗い。ハブを見たことがあるらしい。安全のためにも街灯の設置は必要だと思ふが。

答 災害時には避難場所として使われている。優先順位を見極めながら対応していきたい。

イオンモール南通りの安全性の確保を

問 東西線は全体的に白線ラインが消えたり薄くなっている。特にイオンモール入り口やイオンモール東線に入る中央線、右折線は完全に消えている。安全性からも早急に白線ラインを引く必要があると思ふが。

答 今回の場所は管理者対応が可能なので、来年度実施に向けて検討したいと考えている。

ロウワープラザ緑地ひろば使用の周知を

問 ※ロウワープラザ緑地ひろばは一般開放されている。青々とした芝生が広がり見晴らしもよく、散歩、ウォーキングには最適で、トイレも完備されている。知らない村民が多い気がする。村民の健康維持のためにも周知しては。

答 村ホームページや窓口でポスターを掲示している。他の方法でも周知できるか検討し、村民に使ってもらえるように進めたい。



詳細は
動画から
チェック!

北中城村歴史のまちづくりの概要は

■ 教育長 歴史的風致を維持しながら 展開をしていく



へんざん かずみ
平安山 和美 議員

・月イチで食べたいものは?
グラタン

・いつか挑戦してみたいこと
クルーズ船旅行

・北中城村に今、必要なもの
子どもの権利に関する条例を制定

用語説明
※歴史的風致とは、地域の歴史や伝統を反映した人々の活動と、歴史上価値の高い建造物やその周辺の市街地が一体となった良好な市街地の環境。

問 本村の歴史のまちづくりの概要は。

答 ※歴史的風致を維持しながら様々な事業を展開していく。このまちづくりは、中城村との共同のまちづくりの中でも、重要な位置づけを持っている。中城村では、グスクの整備。本村はその周辺の集落の保全をしていく。

問 人生1000年代、すべての人が生涯にわたって主体的に学び続ける生涯学習の実現を図る必要があると思うが。

答 沖縄県内の生涯学習に関する講座、イベント情報などを提供する。「まなびネット」おきな



本村の生涯学習事業

わ「や、村ホームページで生涯学習オンデマンド講座がある。

問 本村の生涯学習オンデマンド講座が、令和4年度から開始されている。内容も、筋トレやYouTubeの作成。ズーム会議の仕方。腸活料理。かぎやで風の踊り

方などがある。今後村民への周知をどのように考えているのか。

答 現時点ではホームページのみだが、今後は村の公式LINEやSNS等を活用して進めたい。

村民の暮らしを重視

問 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制とは。

答 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、自分らしい暮らしを続けられるよう地域の包括的な支援を行う。

問 村民の暮らしを重視した観光地形成とは。

答 地域の人々が築き上げた歴史や文化、自然が数多く存在している。地域の人々の幸福度を観光客に肌で感じてもらえるような観光地づくりと併せて

地域づくりを目指す。

問 自主防災組織の立ち上げ支援の進捗状況は。

答 自主防災組織が果たす役割は、個々の家庭や地域全体が災害に対して準備を整え、困難な状況でも助け合いながら乗り越えられるようにすることである。社会福祉協議会と連携しながら取り組む。現在は7自治会が設置。今後2自治会が予定されている。

■その他に、生理用品の備蓄状況についても質問をしました。



詳細は
動画から
チェック!



変形十字路交差点に信号機設置を

■ 村長 視認性の改善に向け対応する



きゃん すまこ
喜屋武 すま子 議員

答 信号機の設置は、警察との調整が必要となる。必要性や安全性を考慮した設置

問 島袋地域から仲順に入る変形した十字路交差点は、イオンモールに向かう車が往來し、交通渋滞が起きている。近くの縁どころ吉嶺や中央公民館に行く方が横断歩道を不安ながら渡っている。島袋から仲順辺りに右折する場合は、左側の車の走行が見えづらく危険を伴うこともある。車の一時停止線、または信号機を設置する必要がある。



変形十字路交差点に信号機設置を

問 島袋地区では、古紙やアルミ缶など資源ごみの回収と分別を行っている草の根ボランティアグループが30年余り活躍している。回収班は、区内の自宅に声掛けやゆんたくがてら資源ごみを回収し住民同士の顔の見える関係をつないでいる。また個人で公園内の草刈り、清掃、四季折々の花を咲かせ公園を訪れる村民を笑顔に

問 善行者表彰の規定の設置を
個所の妥当性など希望どおりにならない場合がある。信号機設置は厳しい。視認性の改善に向け、沿道の伐採など予算状況に応じ対応する。

答 長年にわたり社会貢献、奉仕活動を行っている団体や個人の功績をたたえ表彰するのは、すばらしい。新たに善行者表彰規定を設けなくても、北中城村功労者表彰条例で表彰できるものと考ええる。

問 街灯の設置を
他の地区でもボラランティアにいそしむ方々が、社会貢献している。その姿を評価し、※善行者表彰規定を設置し、年に一度表彰をしてはどうか。

答 時刻表の視認性の対応策を早急に講じる。足元を照らす街灯や駐車場への街灯の必要性は、認識しており優先順位を見極め安全性を高める努力をする。

問 中央公民館のコミュニティバス停の時刻表が見えない。近くの階段も街灯の設置が必要である。公民館周辺を点検し安心安全な公共施設にしてほしい。

- ・月イチで食べたいものは？
沖縄そば
- ・いつか挑戦してみたいこと
エッセイ集の出版
- ・北中城村に今、必要なもの
全村コミュニティバスの充実

用語説明
※善行者表彰の規定とは、市町村などによって定められており、市民の模範となる善行をした人を表彰するもの。



詳細は
動画から
チェック!

市町村の境界線が命の境界線か

■ 村長 消防職員から意見等を聴取する



ひが まさし
比嘉 正志 議員

・月イチで食べたいものは？

スクランブルエッグ

・いつか挑戦してみたいこと

もう一度、フルマラソンを完走したい

・北中城村に今、必要なもの

子どもの権利に関する条例を制定

用語説明

※しまくとぅばの日とは、沖縄県は本県文化の基層といえる「しまくとぅば」を次世代へ普及継承していくことが重要であるとして、平成18年3月31日に「しまくとぅばの日に関する条例」を制定し、9月18日を「しまくとぅばの日」とした。

問 夜間や休日の消防署での最低確保人員は8名しかいない。たったこれだけの隊員で複数の事案に対応しなければならぬ。中北消防職員数62名に対し、近隣市町村の消防本部は定数100名以上の職員数である。中北消防の脆弱性は否めない。市町村の境界線が命の境界線になっている。今後どのような対応を考えているか。

答 消防職員との会議の中で要求する職員等については配置をしているつもりである。それだけでは不十分だということ、更には自身の充実、職員の交流等、今はそれさえも大変厳しい環境だと思う。現

答 状況について消防職員からしっかりと意見等を聴取していきたい。

教育現場の充実を

答 多、教職員の業務過多、教職員の成り

手不足により影響を受けるのは本村の子ども達だ。子ども達の未来へ大きな影響があると思う。教育現場の充実、本村の未来を託す子ども達への投資であり、本村の未来への投資である



早期退職者が増えている中北消防

と思っている。しかし新年度の教育現場への予算のつけ方があまりにも厳しく、昨今の現状に逆行しているように思う。村長の見解を伺う。

答 会計年度任用職員の採用については大変厳しい環境にある。教育現場だけの境遇ではなく、福祉分野、その他の分野についても同じような査定、契約をしている。我々のできる範囲の中で予算を組んでいる。大変厳しい判断なので御理解いただきたい。

夕方放送しまくとぅばバージョン

問 3月3日から7日の期間、夕方子ども達によりしまくとぅばバージョンで放送していた。とても良い試みだと思う。これからもこの日の前とか、何らかのイベントの前に単発的な感じで続けてみてはどうか。

答 実施するかどうか検討していこうと思う。例えば9月18日の県が定める「しまくとぅばの日」に合わせて放送するとか検討していきたい。



詳細は
動画から
チェック!



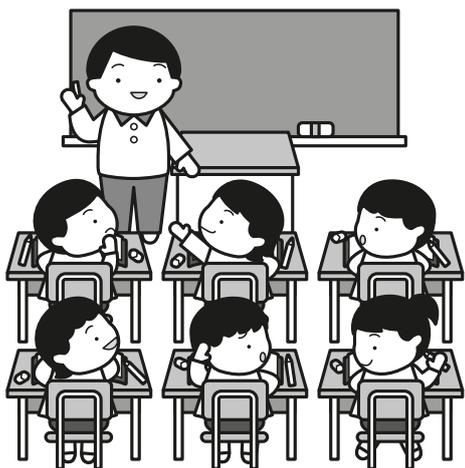
やまだ はるのり
山田 晴憲 議員

学校に行けない児童生徒に適切な支援を

■ 村長 適切なサービスの利用等も含め支援を進めたい

問 学校に行けない(不登校)児童生徒、卒業後の寄り添いの具体的な支援状況は。

答 児童生徒が引きこもり予備軍とならない為にも、家庭と連携しながら支援にあたる。更に学校、教育委員会、福祉課、健康保険課とも連携をする。早期予防早期治療の取組は、義務教育期間中においては福祉課、健康保険課と連携し児童生徒・保護者のケアに努める。将来の懸念については、支援が必要な場合は情報連携し、適切なサービスの利



学校に行けない児童生徒をゼロに

- ・月イチで食べたいものは？
お袋の味
- ・いつか挑戦してみたいこと
世界一周クルージング
- ・北中城村に今、必要なもの
村民みなさんが健康で平和な村づくり

用語説明

※フリースクールとは、不登校や引きこもり、発達障害などの理由で学校に行けない子ども達を対象とした民間の教育機関。学校への復帰や勉強を目的とするだけでなく、居場所や社会的自立を支援する。

用等を含め支援を進めたい。

問 児童生徒への取組という事で、フリースクール、リモート教育とか、将来的な考え

答 必要に応じ、※フリースクールと連携し、児童生徒の成長保障に努める。リモート教育は、必要に応じ実施する。

健康づくりは1人1スポーツ運動を

問 健康づくりに繋がるかと思う歩け運動、地域でラジオ体操など。他の自治体においては、住民1人1スポーツ運動で、運動は何

でもOK。生涯スポーツなど一つの健康づくりの特効薬になるかと思うので是非検討を。

答 行政でやる事に大変有効かと思っ

問 高齢者には長寿検診よりは認知症検診を、早期発見早期治療で解消されると思う。第9次高齢者福祉計画の進捗状況は。

答 第9次計画において「認知症施策の充実」として取組を推奨。認知症対策については、第10次計画で検討したい。

姉妹都市葛巻町小中学校とリモート交流を

問 姉妹都市葛巻町小中学校の子達と、リモート交流は可能か。

答 学校同士で、準備調整しながらリモート交流が進められればと考える。

所管事務調査

きくらげで健康増進、地場産業の可能性を探る

- 【調査日】令和7年4月8日(火)
- 【調査場所】旭イノベーション(北中ファーム)
- 【参加議員】建設文教常任委員会委員7名
- 【調査項目】木耳(きくらげ)栽培



北中城村内で農薬などの化学物質を一切使用せず木耳(きくらげ)栽培に取り組んでいる旭イノベーションを調査した。旭イノベーションは2018年にウェブマーケティング会社として起業、2021年から農事業に参入、北中城村渡口で耕作放棄地となっていた場所をリノベーションして北中ファームをスタートさせている。現在は月1回収穫の年間25トンを生産している。

北中ファームにおいては、生きくらげや天日きくらげの販売から加工品であるパウダー、ゼリー、バタークッキーも販売しており、また、県内各自治体、団体などの収穫体験を利用して販路拡大に努めている状況にある。

独自の方法で栽培する旭イノベーション(北中ファーム)のきくらげは、日本食品分析センターで分析したところ一般的な乾燥きくらげよりもビタミンDや水溶性食物繊維、βグルカンが多く含まれていることが分かった。効果としては、腸内環境を整え、中性脂肪・コレステロール値・血糖値を下げる効果、骨密度も上げる効果が期待できるという。

スマート農業としての独自の技術とノウハウからなる価値についてもその発展性が大いに期待できる。議会として地場産業を盛り上げ、北中ファームが目指す6次産業化に対する支援をいかに構築できるかがポイントであるが、旭イノベーションが持つ成長性とポテンシャルはかなり高い。今後とも建設文教常任委員会並びに議員個々で意見交換を続けていく必要がある。

交流活動報告 北中城村商工会との意見交換会

- 〈開催日〉令和7年2月28日(金) ■〈場所〉北中城村立中央公民館
- 〈参加議員〉全議員
- 〈研修内容〉北中城村商工会活動内容と課題等

**企業力で共に
頑張る盛り上げる!**



これまで、祭りの出店や社協への食料の寄贈、巨大卒業証書フォト事業など様々な形で北中城村を盛り上げてきた北中城村商工会であるが、今回、商工会(親会)、建設業部会、商業部会、青年部、女性部の役員理事の皆さんと意見交換会を行った。

議会の視点と商工会の視点を見ても共有することもあれば逆に学ばされることが多くあったが、特に、北中城村の振興発展や課題解決につながるものとして、北中城村中小企業・小規模企業振興基本条例の制定や物価高騰による工事単価の見直し、地元優先発注、中城村と連携した観光振興策、姉妹都市の葛巻町の物産展の復活、きたなかマルシェ、キッタニア、ウエルネス事業など各部会から合計13項目の提案・要望等があった。

ライカム地区の開発で商業地域として注目される北中城村であるが、今後の商工会の視点や取組みが実りあるものにつながっていくといえます。議会も二人三脚で地域の課題解決や振興発展につなげていければといえます。

議長の
部屋

3月定例議会振り返り

今回初の試みとして予算審議等を本会議場で行った。音響設備が整っている議場での審議は発言がより明確になりスムーズな審議ができたと思う。新年度予算では、削減された保育所の補助事業で修正動議や附帯意見が出されて議論の的となり、その結果、削減方針が撤回された。これは審議の成果と言える。

その他、情報通信関係条例や第五次基本構想については、DX行政がどう住民サービスに繋がるのか、将来ビジョンがどう北中城村に反映、発展をもたらすのか今後の具体策及び実行力が求められる。一般質問は議長を除く全議員が登壇した。議員の熱意は伝わったが、やや質問趣旨の曖昧さや時間切れ等もあったので、今後は質問の目的と成果を意識して理論構成で臨んでもらいたい。会期中、熱心に議論して頂いた議員各位、執行部並びに傍聴者の皆さんに感謝をします。



議長 名幸利積

議会傍聴に

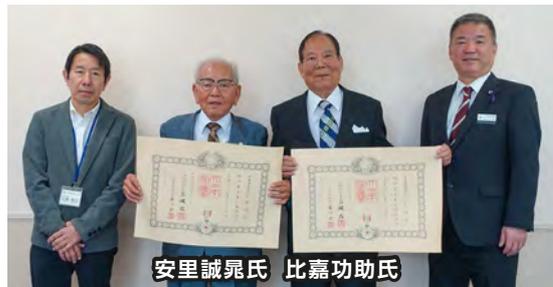
いらっしやい!



令和7年3月12日(水)に広報調査特別委員会の委員長と副委員長の2名でFMギノワンにお邪魔して議会一般質問の傍聴への案内をしてみました。

今3月定例議会は全議員が登壇することになっていたの、ひとりでも多くの方々に興味を持って頂きたく案内しました。

近年、我が村においても投票率が低くなっている傾向にあり、それを止めるべく出来る限りの取組みをしていきたい。

旭日単光章受章
おめでとうございます

安里誠晃氏 比嘉功助氏

この度、令和6年12月1日付けで元北中城村議会議員の比嘉功助氏と安里誠晃氏の両氏が旭日単光章を受章され、その受章報告の為に、令和7年4月7日に名幸利積議長を表敬訪問した。

比嘉功助氏(88歳)は昭和57年9月～平成10年9月までの4期16年(副議長1期)、安里誠晃氏(88歳)は昭和61年9月～平成10年9月の3期12年北中城村議会議員を務めた。両氏は地方自治の発展の為に尽力した功績が認められて今回の受章となった。

お二人の引き続きのご活躍とご健康を祈念しております。

弥勒世果報を後世に

編集
後記

今年(令和7年)は戦後80年を迎えます。唯一の地上戦を経験し多大な被害を受けた沖縄において、平和に対する想いや願いはどこよりも強い県民意識があるといえる。

1995年戦後50年の節目の年に当時の大田昌秀知事により沖縄戦などで亡くなられた全ての戦没者を追悼し、恒久平和を願い発信する場として、糸満市摩文仁に「平和の礎」が建設された。

あれから30年を迎えようとしている中でも毎年礎には追加刻銘がなされている。

我が村においては、2022年から始まった「沖縄『平和の礎』名前を讀み上げる集い」が今年も6月に行われる。これまで読み上げに参加した方々からは近親者の名前があると自然と涙が溢れてくると聞いた。その涙で世界が清められ「弥勒世果報」の世界が実現するためにもずっとこの取組みを続けていきたい。

議会広報調査特別委員会

委員 平安山 和美

発行責任 北中城村議会議長

編集 議会広報調査特別委員会

編集委員 (委員長) 喜屋武功 (副委員長) 比嘉悟

(委員) 平安山 和美・比嘉正志・川上龍太

2025年5月26日発行

〒900-1-2392 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場 426-2

(TEL・FAX) 098-935-4848

(印刷) 株式会社琉球若草